

# 玉村町の未来について 真剣に考えました

14人の  
子ども議員が  
登壇



令和3年12月24日、町内の小中学生14人が議員となり、子ども議会が開催されました。町の未来や身近な問題について提言や質問を行い、担当課長が答弁しました。一人ひとりの子ども議員からこの町を担っていく大きな力を感じました。

## 子ども議員からの質問



通学路の用水路に蓋がありません。危険防止のためにどのような対策をしていますか。

地域の行事（お祭りや伝統芸能など）に、子供達に参加できる機会を増やしたらどうか。行事が活性化し地域が明るくなると思いますが。

視覚障がい者用点字ブロックを、車通りの多いところに設置することはできませんか。

部活動が終わって帰るときに暗くて危ないです。街灯を増やしてほしいです。

地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量を軽減するための木を植えたらどうでしょうか。

町をきれいに保つために、ごみ収集所のカラス対策の強化を。

質問に対して各課長の皆さんが真剣に答えてくれてとても嬉しかったです。議会では町の問題を常に考え対策していることがよくわかりました。貴重な体験ができて、本当に良かったです。



## 子ども議会に参加した感想は？

他の人の意見に「そんな考えもあるな」と思いました。まだまだ問題はあると思います。群馬だけではなく、地球に良いことを自分ができる範囲でやろうと思います。



子ども議会に参加して、非常に貴重な体験ができました。この体験を生かして、これからも「より良い玉村町」にするために様々な角度から見て意見を言っていきたいです。



すごく緊張したけれど、うまく言えて良かったです。今日学んだことを、これからの活動や授業に生かしたいです。課長の皆さん、いろいろ教えてくれた方々ありがとうございました。



議会がゴールになるのではなく、普段から玉村町をより良くするために自分に何ができるか考え、実践していきたい。

